

<参 考>

インドネシアの電力事情

1. インドネシアの電力事業形態

インドネシアでは、エネルギー・鉱物資源省が管轄する、インドネシア国有電力会社(以下 PT PLN)が、発電・送変電・配電を垂直統合し、電力供給を担当している。

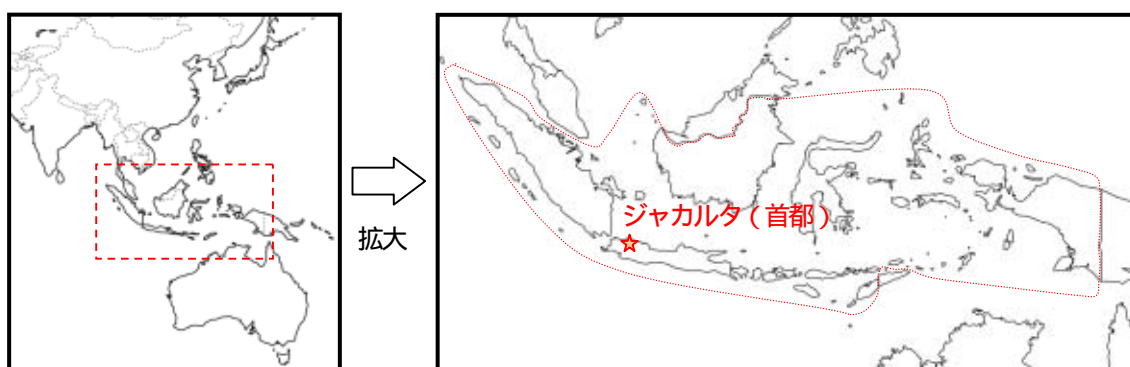
ただし、発電部門については、PT PLN が所有する発電所の一部を別会社化したほか、1990 年代初頭より、民間投資による独立発電事業者 (IPP) も参入している。なお、送電・配電部門については、一部の地域を除き、PT PLN が独占的に電力供給を行っている。

2. インドネシアの電力需給

項目	インドネシア	日本	(参考：東京電力)
発電設備	2,485 万 kW	27,553 万 kW	6,247 万 kW
水力	353 万 kW(14%)	4,737 万 kW(17%)	899 万 kW(14%)
火力	2,132 万 kW(86%)	17,634 万 kW(64%)	3,618 万 kW(58%)
原子力	-	4,947 万 kW(18%)	1,731 万 kW(28%)
その他	-	235 万 kW(1%)	0.4 万 kW(0%)

(インドネシア：2006 年 12 月末、日本：2006 年度末、当社：2007 年度末)

3. インドネシアの位置



以 上